

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵切除術後の急性腹腔内出血の検討
	研究目的	膵切除は周術期管理法や合併症治療が進歩したことにより安全性が向上しているものの、膵液瘻（POPF）は依然治療経過や予後に影響を及ぼす重大な合併症であり、特に POPF が引き起こす仮性動脈瘤出血は緊急治療を要する重篤な合併症である。今回我々は、膵切除後仮性動脈瘤出血（PPH）について検討を行う。
	研究対象者	2013 年 1 月から 2021 年 12 月までに当院で膵癌及び胆道癌に対して亜全胃温存膵頭十二指腸切除術（SSPPD）を施行した症例を対象とする。
	研究期間	西暦 2023 年 2 月 20 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	上岡祐人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 消化器外科 上岡祐人